



ぶっく★まーく

編集スタッフのおすすめ



このコーナーでは、情報・図書コーナーの中から、本紙スタッフがピックアップした本を紹介しています。

このほかの本も、ぜひご利用ください。※書籍下の番号はセンターでの検索番号です。



[400-1]

女の子がいる場所は

2022年 KADOKAWA

やまじえびね (著)

4つの国の少女たちが直面している現実をコミックで描く。彼女たちが生きやすくなるように、先に生まれた者として何ができる？ 全ての女の子にとって世界が希望に満ちたものになることを願う。(こなつ)



[700-2]

ロールモデルがいらない君へ 6カ国育ちのナージャが聞くルーツが異なる12人の物語

2024年 KADOKAWA

キリーロバ・ナージャ (著)

自分のような人は周りにいない、そう思う人はこの本を読んでみよう！ 様々な生い立ちの12人が、「私の場合は」と話してくれる。世界の普通は色々あると気づかせてくれる。君の物語も聞かせて！ (ルナ)



[1200-0]

「人生で大切なことに気づく」ための 文章術 自分のことを書いてみる

2025年 アスコム

岸本葉子 (著)

あなたの中にある「小箱」。それは、あなたのこれまでの人生の数々のエピソード。気づきは、これからの人生の力になるはず。イヤミなく書くテクニックや読みたくなるような工夫なども。(ぽっと)



[1200-3]

わたしの、本のある日々

2024年 毎日新聞出版

小林聡美 (著)

俳優である著者が雑誌に連載してきた、本を紹介するエッセイ。猫や俳句、食、孤独、山など様々なテーマが並び、読みたい本がきっと見つかるはず。その時々著者の暮らしも垣間見えて興味深い。(こなつ)



[2000]

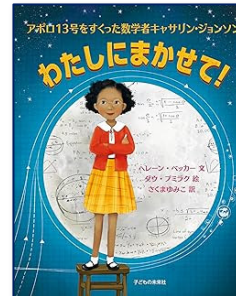
No! と言えるようになるための絵本

2025年 ゆまに書房

ドミニク・ドゥ・サン・マルス(文)/セルジュ・ブロック(絵)/安發明子(訳)

どんなときに「NO」を言うといいのか、いけないのか。言わなきゃいけないときに、しっかり「NO」と言えるようになるための絵本。

大切な子どもを守りたいあなたが、まず手にとって下さい。(ルナ)



[2000]

わたしにまかせて! アポロ13号 をすくった数学者キャサリン・ジョンソン

2023年 子どもの未来社

ヘレン・ベッカー(文)、ダウ・プミラク(絵)、さくまゆみこ(訳)

1970年に打ち上げられたアポロ13号。ガスタンクの爆発事故で命の危機迫る緊急事態に……。本書はこの危機を救った黒人女性数学者の伝記絵本。彼女は人種差別にも負けず、未来を見続けていた。(みっと)

編集後記

今回のテーマは、「女性が活躍する社会がつくる、未来」。戦前は法律的に女性には認められなかったことがたくさんあった。戦後、憲法が変わり、法律や制度が変わり女性も裁判官になれるようになった。それでも性別役割分担意識や社会制度が、今も女性と男性の生き方を縛っている。ただ少しずつ解釈や意識が変わってきて多様性を考えるようになってきた。社会は変わっていく。自分自身も古くならないようにアップデートしていかなければ。(ぽっと)